



営農NEWS



果樹に寄生するカイガラムシ類の防除対策

カイガラムシ類は果樹や庭木などに寄生し、樹勢を衰えさせ、落葉やすず病の発生、果実障害などの被害が発生します。しかし、カイガラムシ類は卵や虫体がロウ物質を主体とした被覆物質に覆われていることが多く、このため薬剤を散布しても被覆物に遮断され、防除効果があらわれにくい難防除の害虫になっています。

カイガラムシ類の防除時期としては、被覆物をかぶっていないふ化直後の幼虫期間と冬期間の耕種的および薬剤防除が重要になります。特に、第一世代幼虫期の防除効果が高く、第二世代以降では効果が低くなりますので、この時期に薬剤防除を実施してください。

ナシやブドウ、リンゴなどで問題となるクワコナカイガラムシでは、例年 4 月下旬～5 月中旬頃に、カキやナシ、ブドウなどで問題となるフジコナカイガラムシでは、6 月～7 月頃にかけて第一世代ふ化幼虫が発生する時期になりますので、園内での幼虫発生する時期をねらって、薬剤防除を行ってください。

<防除のポイント>

- 1 カイガラムシ類の卵からふ化して、幼虫がロウ物質で覆われるまでの期間（ふ化直後）が薬剤防除の適期です。この防除適期は、カイガラムシの種類により、また、その年の気温の違い（有効積算温度）により多少変動しますので、4 月下旬～7 月にかけて園内をよく観察し、幼虫がふ化した直後に薬剤防除を行いましょう。薬剤防除は、7～10 日間隔で 2 回くらい行います。なお、薬剤によっては収穫前日数が長いので、十分に注意してください。
- 2 カキの場合、ヘタの隙間に寄生すると薬剤の防除効果が劣りますので、適期の散布が必要です。
- 3 耕種的防除として、枝幹に寄生している虫群をブラシや刃物等で削り取り、焼却するのも有効な防除法です。
- 4 秋～冬季には、誘引バンドを設置して捕殺や粗皮削りを行い、落葉果樹では休眠期に機械油乳剤や石灰硫黄合剤を散布して防除を行います。

表 1 ナシ クワコナカイガラムシの主な防除薬剤（平成 28 年 4 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	備考（登録対象）
スプラサイド水和剤	1,500～2,000 倍	（無袋栽培）収穫 21 日前まで / 2 回以内 （有袋栽培）収穫 7 日前まで / 3 回以内	カイガラムシ類 カイガラムシ類
バリアード顆粒水和剤	4,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	
コルト顆粒水和剤	3,000～4,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	カイガラムシ類
ハチハチフロアブル	1,000～2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内	
アプロードフロアブル	1,000 倍	収穫 30 日前まで / 2 回以内	カイガラムシ類幼虫

表 2 ブドウ（露地巨峰） クワコナカイガラムシの主な防除薬剤（平成 28 年 4 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	備考（登録対象）
スプラサイド水和剤	1,500 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内	カイガラムシ類
アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	コナカイガラムシ類
スミチオン水和剤 40	800～1,200 倍	収穫 30 日前まで / 2 回以内	大粒ぶどう
アプロードフロアブル	1,000 倍	収穫 30 日前まで / 2 回以内	カイガラムシ類幼虫

表 3 リンゴ クワコナカイガラムシの主な防除薬剤（平成 28 年 4 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	備考（登録対象）
スプラサイド水和剤	1,500～2,000 倍	収穫 30 日前まで / 2 回以内	カイガラムシ類
オリオン水和剤 40	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	カイガラムシ類
ダイアジノン水和剤 34	1,000～1,500 倍	収穫 30 日前まで / 4 回以内	クワコナカイガラムシ若齢幼虫
スミチオン水和剤 40	800～1,200 倍	収穫 30 日前まで / 3 回以内	
アプロードフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫 30 日前まで / 2 回以内	カイガラムシ類幼虫

表 4 カキ フジコナカイガラムシの主な防除薬剤（平成 28 年 4 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	備考（登録対象）
スプラサイド水和剤	1,500 倍	収穫 30 日前まで / 3 回以内	カイガラムシ類
モスピラン顆粒水溶剤	2,000～4,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	カイガラムシ類
コルト顆粒水和剤	2,000～3,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	カイガラムシ類
オリオン水和剤 40	1,000 倍	収穫 21 日前まで / 3 回以内	カイガラムシ類

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040